

全国保育実践交流会ニュース

2022 年 12 月 茨城地区発行

ここ数年コロナ禍で、今まで取り組んできた交流ができませんでしたが、今年は自然体験・交流リズム・文化行事など交流で行うことが出来ています。特に自然体験は全園参加とはならないものの、ほぼコロナ前の体験を行うことができ、自然の美しさ、厳しさ、不思議などを感じ交流園皆の刺激を受け、その体験と物語の世界を繋げ意欲的に育っているのを感じています。今回のニュースではその自然体験を中心に年齢別部会や交流リズムなど茨城の保育をまとめてみました。

〈そとの・まつぼっくり交流〉 6月14日(火)

そとの保育園で2園が交流しました。初夏の気持ちのいい空で、そとの保育園のツバメたちがまつぼっくり保育園の子どもたちを賑やかに歓迎していました。そとの保育園の子どもたちは自園の森に案内し、ドドメやラズベリーと一緒に食べたり、クワガタやカブトムシを探し、アスレチックを楽しみました。短い時間でしたが、楽しい時間を過ごせました。



〈交流リズム〉

今年は体育館を借り、8園全園での交流リズムを行うことができました。各園の状況によっては実施できない月もありましたが、リズムのポイントを共有しながら自園で取り組み運動会を迎えました。11月のリズムでは夏頃の姿とは違い、友だちの姿を真剣に見つめ、大人の話をしっかりとかこうとする姿に仲間と共にたくさんの事を経験し、運動会を経て自信をつけてきたことが感じられました。8園全部が集まれる交流リズムは子どもたちにとっては楽しみの場であり、大人たちはたくさんの事を学び合える場となっており、日々の保育の力の一つとなっています。

〈川のぼり〉 7月20日(水) 21日(木)

参加園 20日 あおぞら保育園・野いちご保育園

21日 あおぞら保育園・たんぼぼ保育園・まつぼっくり保育園

高萩市のあおぞら保育園近くの関根前川で川のぼりの交流をしました。ワクワドキドキシながら川の中に足を入れると、ひんやりと気持ちよくて、水の上から石の間の白い砂や魚が良く見えるほど澄んでいる川、周りの木々、緑の葉がとてもきれいでした。水の流れ、岩場の様子をみながら、どこに足を入れたらいいか考え、手足を踏ん張って進み、大人の膝ほどの高さの水や、流れの速いところで、滑って転んでもすぐに立ち上がり、また仲間に手を差しのべたりする姿に、子どもたちの逞しさを感じました。また最後の深いところでは、たんぼぼ保育園の保護者の力を借りてどの子も深いところまでの泳ぎの体験をさせてもらい「深ーい」と歓声を上げながら、大喜びの子どもたちでした。後日、「とても楽しかったみたいで、もう一度行きたい！」と話していました」と話す家庭が沢山ありました。五感で感じ、全身で楽しんだ、笑顔いっぱい感動いっぱいの川のぼりでした。



〈那須甲子合宿〉 7月13日(水) ~14日(木)

たんぼぼ・野いちご・あおぞらの3園で、那須甲子合宿に参加しました。残念ながら、連日悪天候で茶臼岳もカッパを着ての登山となりました。それでも「雲食べられるかな」と雨の中を一步一步と進み、弱音を吐くことなく頑張って登っていた子どもたちでした。

9月になり、那須甲子合宿に参加出来なかった、はなのわとひばり2園合同で再チャレンジ。その日は天候に恵まれ、青空のもと夏山と違った初秋の茶臼岳登山を楽しむことができました。自然体験は、天候によって大きく変わってきますが、頑張る姿は同じで、年長らしく逞しさを感じるものでした。



〈 年齢別部会 〉

今年も、年齢別部会を7月と11月にリモートで昼の時間に行いました。昨年の経験をもとに報告書や絵を事前に送り合い、あらかじめ質問を出し回答も事前にして当日に発表し合いました。保育の様子の写真も出しながらなので、工夫していることや楽しそうな様子が見え参考になりました。時間が限られているので討論の不十分さはありますが、今まで出られなかった短時間勤務の職員を含め、クラスの全保育士が参加でき皆で学ぶことができました。

〈赤城合宿〉 11月11日(金)～12日(土)

群馬県前橋市の赤城山の麓にある、国立赤城青少年の家に、たんぼぼ・野いちご・はなのわ保育園で1泊2日の合宿を行いました。北関東自動車道と言う高速が出来て、バスで2時間半位で行けます。季節は秋から冬に差し掛かり、赤城山の頂上では、木々の葉っぱも落ち、子ども達は「はだかんぼうの木」と言いながら沼の周りの山を一周しながら、たつのこ太郎に似た景色を見ながら沼を見ると「おっかさ～ん！たつのこ太郎だよ～」と叫んでみたり、おとぎ話に入り込んでいました。



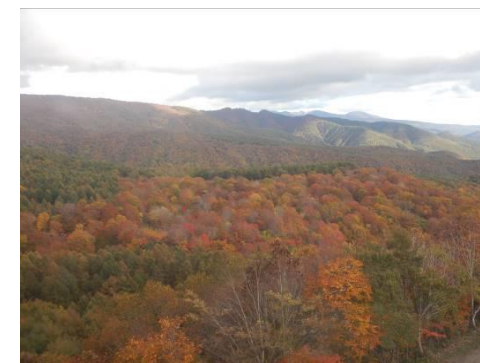
2日目は宿泊所の周りを散策して、動物の足跡を見付けたり、甘い匂いの葉っぱ等を見付けて自然を感じたりしていました。またバスでの帰り道に群馬の観光スポットでもある、わたらせ鉄道のトロッコ列車乗って山々の景色や横で流れている川に映る紅葉を見ながら楽しんで帰って来ました。

〈磐梯合宿〉 10月19日(水)～21(金)

参加園 はなのわ保育園・たんぼぼ保育園・野いちご保育園・ひばり保育園

4つの姉妹園で2泊3日の山登り合宿を行いました。

紅葉も始まる中、3日間天気にも恵まれ、五色沼、磐梯山、檜原湖、昭和の森などなど雄大な大自然の季節の移り変わりを肌で感じながら、とても気持ちよく歩くことが出来ました。子供達はグミやアケビなど食べられる木の実や赤や黄色に色づいた葉っぱ、甘い香りのする葉っぱなど沢山の宝物を見つけながら楽しんでいました。それぞれが自分に向き合い、仲間と共に励まし合いながらどの子も沢山の達成感を味わい心身共に成長が感じられた合宿でした。

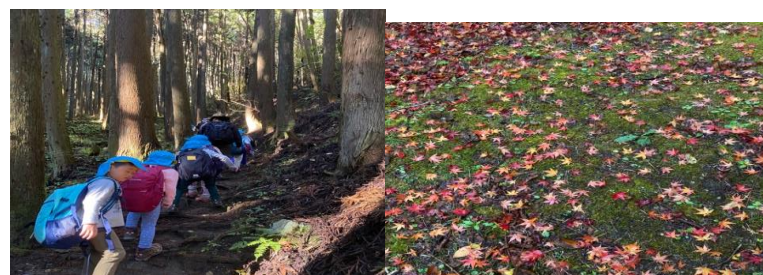


〈土岳登山〉 11月16日(水)

「空がだんだん大きくなってきた！」

登るにつれて、落葉した木々の間から見える空が少しずつ広がっていくのを感じた子どもの感性が、自然の中で弾けます。真っ青な空と、赤やオレンジに紅葉した木々とのコントラストに声を上げたかと思えば、足元のどんぐりを拾い、比べながら、嬉しそうに見せてくれます。

野いちご、つくしんぼ、あおぞらの三園で登った土岳山は、場所によっては大人でも登るのに苦労する険しい一面も持っています。そんな自然の真っ只中で、子どもたちは、仲間の気持ちや、助け合う大切さに気付きます。触れたら触れた分だけ、行ったら行った分だけ、自然は新しい気づきをもたらしてくれます。次に行った時、土岳山がどんな新しい顔を見せてくれるのか、楽しみです。



〈竜神峡の山登り〉 11月25日(金)

竜神峡は茨城県の北部に位置し、茨城百景の一つにも挙げられています。そこに架かる「竜神大吊橋」は長さ約375m、ダム湖面からの高さは100mで、橋上から八溝・阿武隈山の山並みを見ることができ、四季折々の自然を楽しめます。

11月25日に、3園（つくしんぼ・はなのわ・あおぞら）で、その「竜神大吊橋」を上から眺めることができる「赤岩展望台」を目指して登りました。

頂上までは2.8kmと短いのですが、沢がちな道や、急勾配の道が続き、どこに足をつくか考えながら登りました。登るにつれ、「橋がだんだん下になっていく！」と、高さも感じていました。展望台に着いたときには、「わー！」と大歓声。橋を眼下に、そして目の前に広がる山並みに心を奪われた瞬間でした。



〈スーホの白い馬朗読と

馬頭琴演奏鑑賞〉

11月29日(火)

コロナ禍の中でも子どもたちに素敵な文化を伝える活動を大切にしたいと、今年も「スーホの白い馬」の朗読と馬頭琴の演奏を催しました。7園の参加でしたが、赤羽末吉さんの絵や魔法にかけられるような見澤さんの語りや、嵯峨さんの深く心に響く馬頭琴の音、さらに今年は実際のモンゴルの草原を風を切って走る馬たちの動画もお話の後に上映して、嵯峨さんの軽快な馬頭琴に合わせてみんなで走る気分も味わうことができました。